

2014年6月号

衣類のお手入れ通信

6月は水無月。「水が無い」と書きますが、もとは「水の月」という意味の「水な月」という古い言葉が始まりだとか。旧暦の6月は、田に水をはる時期だったことから生まれた名前だそうです。今年は30度以上の日が多く、体調管理がむづかしい季節ではありますが、身も心も潤いを保ち、みずみずしい毎日にしたいですね。

【芳香剤の入った洗剤に頼らなくてもよいのです！】

いよいよ6月。一年のうちで一番湿気が多く、雑菌が繁殖しやすくなります。この時期、洗い終わった洗濯物を洗濯槽に入れっぱなしにしておくと、すぐにツーンと鼻につく嫌な臭いがしますが、これも雑菌の繁殖が原因です。この嫌な臭いを消すのに、芳香剤入りの洗剤を使う方は少なくありません。しかし、気をつけてください。それで雑菌を退治するわけではありません。あくまでも、芳香剤で臭いを押さえているだけに過ぎないのです。たしかに殺菌効果をうたっている洗剤もありますが、完全に死滅させる事はできません。すると生き残った菌がふたたび繁殖し、またツーンとした臭いが発生してしまいます。そこで、洗濯物に繁殖した雑菌を退治する簡単な方法をお教えしましょう。

1. 干し忘れた洗濯物の入った洗濯槽に 60℃のお湯をタップリと入れる。
2. 30秒ほどそのままにしておく。
3. 洗濯物を脱水し、すぐに干すか乾燥機で乾燥させる。

これで嫌な臭いは消えるはずです。

雑菌は 50℃以上のお湯で死滅してしまいます。雑菌さえ退治してしまえば臭いもなくなるというわけです。また、洗濯物があの臭いを発する時、実は洗濯物だけでなく、洗濯槽にも雑菌が繁殖しています。この方法なら洗濯槽そのものも除菌できて一石二鳥というわけです。雑菌が残ったまま洗濯物を乾燥すると、嫌な臭いはずっととれません。それはカビの原因にもなり、体にも良くありませんよね。ジメジメした時期だからこそ臭いを絶って、すがすがしいファッションライフをお過ごしくださいませ。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博